

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 25 27	○思いやりや意向の把握 ○暮らしの現状の把握 ○個別の記録と実践への反映 その日その時の利用者の言動等、一部の職員間で話す事はあるが記録に残さないことが多いため、全ての職員の共通の理解に繋がっていない	・利用者との関わりの中で、利用者の言動等から気付きを記録に残し、気持ちの理解や職員間の情報の共有に活かしていく	・介護記録に気付きの欄があるので、利用者の発した言葉や職員の感じた事を記録する ・2ヶ月に1回送る家族への手紙に、利用者の言動や気付き等も書いて送るようにする ・利用者のカンファに気付き等を活かしていく	12ヶ月
2	34	○急変や事故発生時の備え 緊急時の対応・感染対策等について毎年勉強会を開いているが特に感染対策について、今年感染想定訓練を行ったところ適切な対応が出来ない職員が多かった	・ノロウィルス等の感染対策について全ての職員が適切な対応が出来るようになること	・職員の施設内勉強会や外部研修は今後も継続して参加してもらう事 ・聞くだけでは実際には適切な行動がとれないため、様々な場面を想定し全ての職員が訓練を実施すること	9カ月 (12月までに行う)
3	18 20	○本人を共に支え合う家族との関係 ○本人と共に過ごし支え合う関係 年3回の大きな行事に家族が参加することで利用者の喜びは大きかった。他の場面でも家族の協力を得ることで利用者の喜びに繋がることはある	・面会で話して帰る、というだけでなく家族と何かをしながら共に過ごすことは利用者の穏やかで充実した生活に繋がっていると思われ、それが可能となるように職員は利用者・家族を支えていくこと	・外出の計画がある場合は、予め家族にも知らせ協力が得られ易くしておくこと ・個別の食事を設け利用者の居室でゆっくり食事ができるよう家族の都合を確認しておく ・家族と共に作業等物作りをする機会を設ける	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。